

# 書くための材料 それはチリ

毎日少しずつ書くためのチリが増えていく。

ゴミと言ってもいいだろう。

しかし、

例えばグラウンドを校舎の屋上から見下ろすと

なんでもないその砂粒の一つ一つが

部活学生の汗とともに煌びやかに輝くように

ゴミはボールペンを持つと宝石に変わる。

何気ない日常の中の逡巡、そして散歩途中の景色が、  
書くための材料という宝石に変わるのだ。

隣に例えば猫がいれば

眠気にも変わるのかもしれない

ゴミはホウキで掃き出され

太っちょのおばあさんによってチリトリの中へ入ったその後

虹の迷路の中を通った後に

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。  
した。